



仁坂知事(以下仁坂)●コシノさんといえ  
ば、誰もが知る世界的なデザイナーです  
が、お生まれは和歌山にも近く、だんじ  
りで有名な大阪府岸和田市です。どのよ  
うな幼少期をお過ごしだったんですか？  
コシノジュンコ以下コシノ●小中高校と  
岸和田で過ごしました。また実家は呉服  
屋で、反物がいつも転がっていました。  
ある時、母がミシンを見て「これだ」と閉  
き、洋服店に変わったそうです。三姉妹  
のヒロコ・ジュンコ・ミチコの内、姉のヒ  
ロコが跡継ぎと決まっていたので、私も  
妹も全く違う方向に進んでいました。妹  
なんてテニスの学生チャンピオンで、日  
焼けで真っ黒。ファッションなんて程遠  
かったんですよ(笑)。一方、私は油絵を  
やっていました、ある日東京から画家の  
先生が我が家に遊びに来た時に、私の油  
絵を褒めてくれたんです。当然、美大へ  
の進学を勧められるものと思っていた  
のですが「どうしてお母さんと同じ方向に  
行かないの」ってもう凄い本気で言うん  
ですね。それから突然将来の方向性がぐら  
として、東京の文化服装学院に進学しま  
した。でもやっぱり絵に執着があり、東  
京に出てきてもまだ描いていました。で  
も絵が描けたものだから、コンテスト  
で絵を出すのと大体、通るんですね。だ  
からあの当時は、コンテストマニアって  
いわれるほどコンテストに参加し、けっ  
こう稼いでいました(笑)。あの先生に出会っ

# センスとアートが呼応する 和歌山の絶景。

まるで不思議なアートのように見る者を魅了する和歌山の絶景。  
そしてその景色に感動する世界的デザイナー、コシノジュンコ。  
類まれなふたつのエレメントは、徐々にまた自然と引き寄せられる。

ていなければ、売れない画家になっていた  
かもしれない(笑)。人との出会って不  
思議なものですね。結果的には洋装もまず  
はデザイン画で、それを洋服にしてショ  
ーに出して、一位を決めていくわけです。そ  
してデザイン科在学中に、新人デザイナー  
の登壇門といわれる装苑賞を最年少の19歳  
で受賞しました。その賞を獲得とプロと認  
められるということもあり、学生である私  
には早すぎかなと思えました。またそれが  
すごくプレッシャーでしたが、プロとして  
活躍することに、背中を押されたような感  
じでした。卒業後、仕事を始めた頃は、ち  
うどグループサウンズが流行りだした時代  
で、最初にタイガースの衣装をデザインし、  
他のグループからも注文がドンドン。そん  
な経験があるものだから、今でも舞台衣  
装のデザインは大好きで、プロードウエイ  
やオペラの衣装も手掛かりしています。

## 日本の小篠順子から 世界のコシノジュンコへ

仁坂●実は私、ファッションに縁があり  
まして、まだ日本が生産力第一主義だっ  
た頃、ジェトロのミラノ次長として派遣  
され、そこで感性で儲ける「ファッション  
ビジネス」というのを学ばせてもらいま  
した。コシノさんといえば、1970年に  
開催された大阪万博の衣装デザインをさ  
れたことで有名です。  
コシノ●大阪万博の3つのパビリオンの  
衣装デザインをさせてもらいました。当  
時はまだ20代で「あんな若い子に頼ん  
でいいの？」と採めたそうです(笑)。  
仁坂●しかしその後は、「コシノジュ  
ンコ」のファッションデザインに世界中  
の人が注目するようになりました。  
コシノ●ファッションは、パリを抜きに  
は語れません。その上パリでファッショ  
ンショーを一度でも開催すると、どこに  
行っても通じるもうその人の保証とい  
うか履歴になるんです。ところが私はそ  
の真逆というか、先進国でない誰もとい  
ない場所でもファッションショーを開  
きたくなるんですね。そうして開催し  
たのが1985年の北京。これは中国最大  
のファッションショーでした。1994  
年には日本人初のショーをベトナムで、  
1996年には外国人デザイナーとして  
は世界初のショーをキューバで開催しま  
した。当時のキューバはアメリカからの  
情報だけなので悪いことばかり。でもパ  
リから見ると物価も安いし景色もよく楽  
しい。あんな素敵な場所はないという印  
象なんです。しかし8月のカリブは、  
毎日がこの世の終わりのような台風シ  
ーンでしたが、奇跡的にショーの当日だ  
け青空が広がったんです。とはいえ時折  
強烈な雨が降るのですが、お客さんは雨  
が止めば、いつ再開してもいいんです。  
そういう「リ」を覚えると、時間通りに  
やるより、面白いことをやる方がいい

# 知事対談

コシノジュンコ × 仁坂吉伸  
デザイナー × 和歌山県知事

飛花落葉 1991 200 × 450cm 今井俊満



んじゃないって思うようになり、その後2009年に開催したミャンマーでは、シヨ一の途中で停電に。しかしそれもまるで演出のように楽しみました。だってパリコレと同じでは自分が感動できないし面白くない。それでは満足もできないですからね。

**仁坂** ●自分が感動しないと面白くない。いい言葉です。自分が感動するために臨機応変に一生懸命やる。そういう姿にコシノさんの力強さを感じることができません。

## どんどんと深まる 和歌山との関係性

**仁坂** ●コシノさんは和歌山県とも大変深い関わりがあります。この法被もコシノさんにデザインしていただきました。

**コシノ** ●私、だんじりの岸和田生まれですから、法被をデザインするのは得意なんです(笑)。

**仁坂** ●また和歌山県では世界遺産である高野・熊野をもっと売り出し、みんなで盛り立てていこうということで、高野山・熊野を愛する100人の会というのを作り、コシノさんにも中心メンバーとして入会していただいています。

**コシノ** ●私からは和歌山県出身のシンガーソングライター、川島ケイジさんを紹介させてもらいました。先日そのケイジさんから非常に美味しい梅干しをもらいました。ちよっとパッケージを変えた



橋杭岩

那智の滝

た。これはもう世界自然遺産に登録すべきものだと思いました。

**仁坂** ●橋杭岩は国内最大級の写真総合エージェンシー「アフロ」においても絶景・海部門で一位になりました。まさに日本一の写真スポットなんです。

**コシノ** ●やつぱりそうですね。白浜町の千畳敷もそうですが、和歌山の景色は不思議なアートのようです。実際に行ってみると、和歌山って見るところがいっぱいあるなと思いましたね。

**仁坂** ●千畳敷の近くにある三段壁も凄いですよ。他にも南紀熊野ジオパークの一つ、すさみ町にあるフェニックス褶曲は、グニャリと曲がっている大きな地層を見ることが出来ます。ここだけではなくて、和歌山には本当にすごい自然が延々とある

金と黒の屏風の世界を表現しデザインされた南高梅のパッケージ。



和歌山県のPR用にデザインされた法被。「木の国」「水の国」をイメージしている。

らかっこよくなるのにとあって「パッケージデザインしてもいいよ」ってお話したんです。そうしたら、その会社の社長さんが喜んでくださって、とんとん拍子に話が進んで、デザインをすることになりました。ちよっとしたきっかけで、和歌山との間がどんどん近づいている気がします。なんととっても梅干しは日本の食の原点で、その上美味しい。和歌山の梅干しは世界一の食べ物だと思います。

**仁坂** ●ありがとうございます。また和歌山は南高梅の国内生産はダントツの一位なんです。2月頃になると、南高梅の主要産地であるみなべや田辺の山々は綺麗な梅の花に覆われ、多くの方々が観梅に来られます。また6月になると梅ジュースや梅酒用の青梅が出荷されます。

**コシノ** ●私も梅酒をつけましたが、美味しいですよ。また梅は健康にもよく、

感染症に気をつける必要があるこの時代にぴったりだと思います。

**仁坂** ●そうですね。さらに和歌山の食品の機能性が科学的にどどん証明されつつあるんです。健康志向の現代にピッタリですね。またコシノさんは、和歌山の色々な所に行かれたと思いますが、オスメスポートってどこでしょう。

**コシノ** ●一番は「那智の滝」ですね。私たちの後ろにある大きな絵は、画家の「今井俊満」さんの作品ですが、フランスの文化大臣でもあった「アンドレ・マルロー」さんも日本で一番素晴らしい場所の一つと言ったそうです。私も以前からずっと行きたいと思っており、それが実現できるときはとても感動しました。皆さんは世界遺産になった所をよく見るんですけど、その時に私が一番感動したのが、那智の滝に行く途中で見た「橋杭岩」でし

# 知事対談

## コシノジュンコ × 仁坂吉伸

デザイナー 和歌山県知事

コシノジュンコ

大阪府岸和田市出身の世界的なデザイナー。姉はコシノヒロコ、妹はコシノミチコ。文化服装学院デザイン科在学中、新人デザイナーの登龍門といわれる装苑賞を最年少の19歳で受賞。

んですよ。また、先ほどお話のあった那智の滝を含めた高野・熊野の世界遺産は、日本の他の世界遺産と違い、一つの建物が立派だとか、一つの歴史があるという単純なものではなく、そこには人間の2000年近い営みがあるんですね。昔から人々は生活とか仕事とかで心身がすりへりますよね。その時、奥まった神秘的な地、熊野にお参りすると蘇ることができる。そういう地域だったので、この地域は、その営みが世界遺産になっているのです。だから熊野は日本人の精神性の原点とも言え、それを求めて、今も多くの方々が「蘇りの地・熊野」に参詣されています。熊野は何と言っても、先ほどからお話のように雄大な自然の中にあるわけで、そういう地域だからこそ、蘇りの地、熊野という文化が定着したんでしょうね。

果日本人はもろろん、多くの西洋の方々を受け入れられたと思っています。今は新型コロナの影響で少なくなっていますが、日本には外国人観光客が多く来られています。和歌山県は他の地域に比べると、アメリカやオーストラリア、そしてヨーロッパの国々の人たち、特にフランスからの観光客が多く、先ほどコシノさんが仰ったアンドレ・マルローさんなんかもフランス人ですが、彼らは文化や深い歴史に対する憧れが強いのでしょね。

**コシノ** ●和歌山には多くの素晴らしい所があり、それらは世界中の人々の財産に思っています。和歌山には見どころがたくさんあり、私ももともと和歌山をアピールしていきたいと思っています。

**仁坂** ●力強いお言葉、ありがとうございます。本日はありがとうございました。

